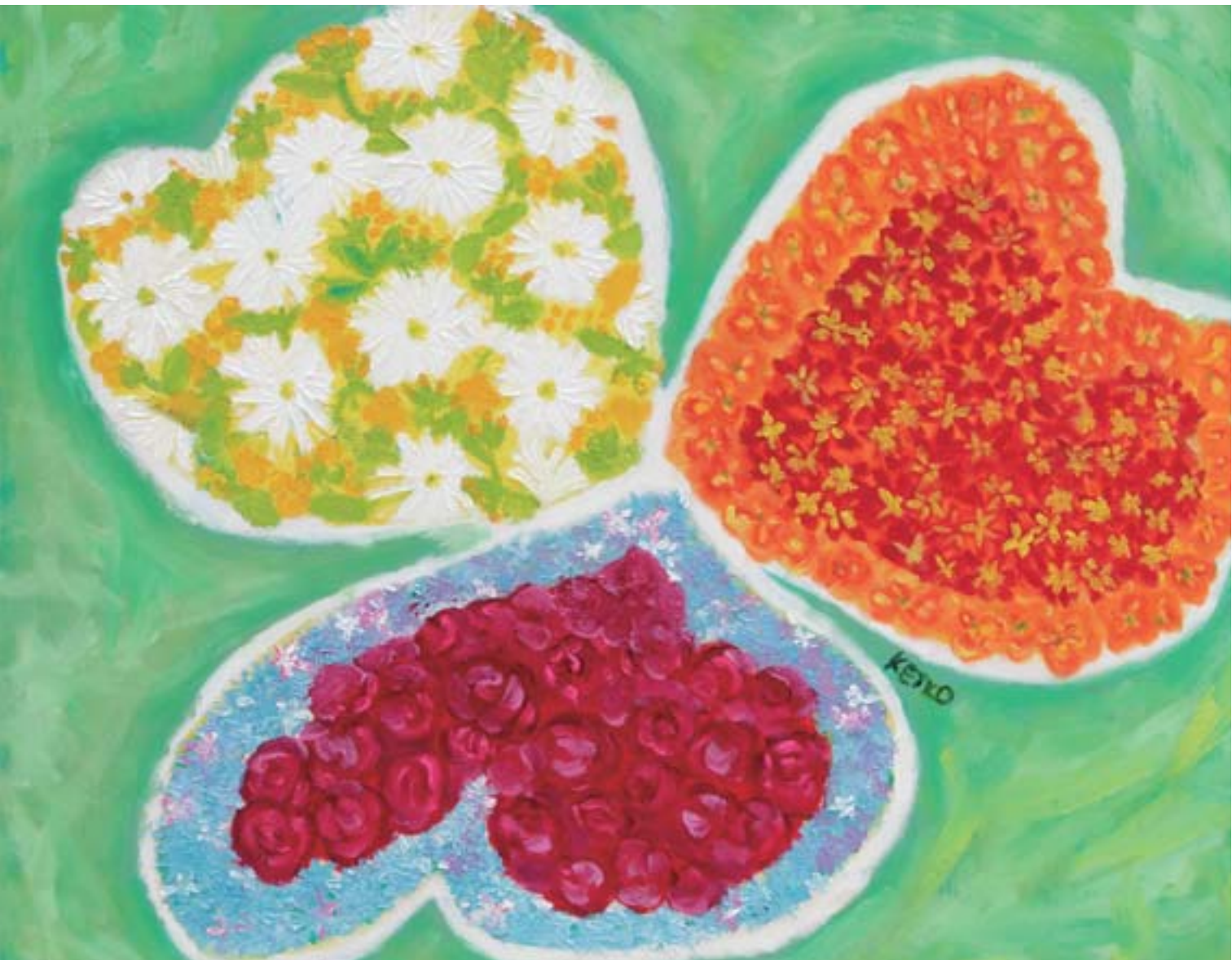




株式会社パソナグループ 株主通信

2008年6月1日～2008年11月30日





P A S O N A

社会復帰を望む人、
新しい人生にチャレンジする人、
人生の目標に果敢に挑戦する人、
『誰もがいつでも自由に好きな仕事を選択することができ、
それぞれのライフスタイルに合わせた働き方ができる社会』。
それを実現することが、私たちパソナグループの「志」です。
そのために、パソナグループが果たすべき役割は、
『年齢・性別を問わず、一人ひとりが夢を持って
活躍できる場を創造し続ける』こと。
この使命を忘れることなく、常に前進し、挑戦しながら、
社会貢献を果たしてまいります。

Contents

目次

株主の皆さまへ	2
パソナグループ ニュースフラッシュ	4
よき企業市民として—CSRへの取り組み—	6
スタッフライフ・コンシェルジュとして	8
グループ フォーカス	10
パソナへ行こう!	11
事業概況	12
第2四半期連結財務諸表	15
株式情報	16
役員・アドバイザーボード、会社概要	17

たくさんの派遣スタッフがパナを頼りにしてくださっています。

世界的規模で広がる不況のもと、私たちに寄せられる派遣スタッフの皆さんの声も切実なものが増えてきています。

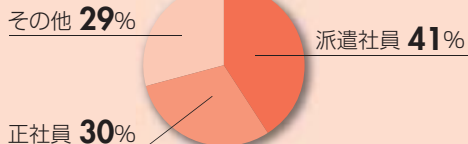
パナグループにできることは何か。

皆さんから寄せられた思い、期待に応えるために、グループ一丸となって、これからも取り組んでまいります。



2009年新春プロGRESSミーティングで自筆の言葉とともに決意表明する南部靖之

Q 希望する働き方を教えてください。
(子供ができるまで)



【調査概要】 調査対象:パナソニックで就労している女性派遣スタッフ 調査期間:2008年8～9月 回答者数:1,182人

Q パナソニックの「強み」だと思ふものを教えてください。
(複数回答)

社会保険・健康保険が完備	64%
時給が高い	62%
福利厚生や施設が充実	49%

スタッフの声 ①

主人が経営する会社の業績が悪化した。派遣で働いて家計を助けたい。



パナソニックグループ「職博」で、自分自身に合った働き方と仕事を発見

スタッフの声 ②

派遣が悪く言われているが、パナソニックは時給も高いし、福利厚生や有給休暇が充実しているので派遣の方がいい。



パナソニックグループ主催のセミナーで、自己啓発に取り組むスタッフの皆さん

スタッフの声 ③

地方は仕事が少ないので、東京で働くために上京した。



全国主要都市で開催される東京ビジネス留学制度説明会には毎回多数の人が参加

スタッフの声 ④

主人が失業したので、フルタイムで時給の高い派遣の仕事がしたい。



専任カウンセラーが親身になってキャリアアップをサポート

創業の精神を守り抜く

株式会社パナグループとして迎える第2期目の中間期を終えて、私はいま改めて、「働きたいと願う誰もが“格差”なく働くことのできる社会をつくる」という“創業の精神”をなんとしても守り抜かなければならないと決意を新たにしております。

今、製造分野での派遣を中心に、労働者派遣法の見直しが議論されています。こうした中で、“派遣”での就労は不安定だから“正社員”に、という意見も報道されています。しかし果たして働くすべての人が“正社員”になることを望んでいるのでしょうか。むしろひとつの会社に雇用されようとするからこそ、“弱い立場”になるのではないかと私は考えます。

今から33年前私は、再就職が難しい家庭の主婦のための就労の場をつくりたいという思いから、パナグループを創業しました。以来、就労が困難な方々が才能・能力を最大限に発揮できる仕組みを生み出すことで、新たな雇用を創出してきました。私たちはこれからも、既成概念にとらわれることなく、働きたいと願う人々の“自力”を引き出し、“人を活かす”ためのインフラづくりに果敢に挑戦してまいり所存です。

「緊急雇用創出本部」の発足

現在、世界同時不況の影響で、日本の雇用環境も急激に悪化しています。失業者はさらに増え、雇用不安が日本中に広がる可能性が非常に大きいと思われます。そこでパナグループでは、2009年1月5日付で「緊急雇用創出本部」を発足しました。私が本部長として陣頭指揮をとり、次の3つのプログラムを実施してまいります。

1. イノベーションプログラム

新たな雇用のフィールドを創出する一。即ち“創職”です。東京に集中した人材を、あらゆる産業・地域間で流動させるうねりを起こし、地方でも雇用を生み出します。

例えば、パナグループが2003年から取り組みを始めた“農業”分野では、「Agri-MBA農業ビジネススクール」「チャレンジファーム」「ゆめファーム」などの試みで、フリーターの若者、女性、中高年、障害者など、様々な知識や経験、感性を持つ方々が農業に関心を持ち、入りやすい環境を整えていく。そして、農業を新たな産業として担っていく“核”となる人材を育成し、農業分野での雇用創造につなげていきたいと考えています。迂遠なようではありますが、これらの取り組みは今、一つひとつ着実に実を結びつつあります。

2. トータルアウトソーシングプログラム

日本の産業の底力を支えるのは、全企業数の99%を占める中小企業の存在です。その中小企業に、経理、営業代行、採用代行、教育などのトータルアウトソーシングサービスを提供し、また必要とあればITや



財務などのプロフェッショナル人材をご紹介します。そうすることでコア事業や新たな技術開発に注力できる環境を整え、更なる事業の発展のためのお手伝いをさせていただきたいと考えています。

3. 自力強化プログラム

社員のスキルアップを強化し更なるサービスの質の向上を図るとともに、派遣スタッフの皆さまの更なるプロフェッショナル化を図り、エンプロイアビリティを高め、“強い個人”をつくるための施策に注力してまいります。

明るい未来への道筋をつくる

また、内定取り消しを受けた学生や就職に不安を持つ学生に対する就職支援イベントを開催し、一人ひとりのお話に真摯に耳を傾けてまいります。若者が将来への夢を持ってない社会に未来はありません。このような厳しい時代だからこそ、「雇用問題を解決することで社会に貢献する」という使命感と情熱を持って、パナソニックグループ丸となって、思いを一つに、働きたいと願う一人ひとりが明るい未来への道筋を作っていくためのお手伝いをさせていただき決意です。皆さまからの変わらぬご支援をいただけますよう、心よりお願い申し上げます。

2009年2月

代表取締役 グループ代表

南部靖之

9

ベネフィット・ワン

「WORK・LIFE BALANCE FESTA
+ ECO 2008」開催

www.benefit-one.co.jp

ベネフィット・ワンは、会員企業の社員と家族の絆を深め、企業や組織を超えた交流ができるイベントとして「WORK・LIFE BALANCE FESTA+ECO 2008」を東京ビッグサイトにて2日間開催し、約28,000人の方々にご来場いただきました。

昨今従業員同士のコミュニケーションを促すため、運動会などの社員参加型イベントを開催する企業が増えており、昨年の初開催に引き続き、今回は170団体を超える企業に出展・協賛していただきました。また「ECO」を新たなテーマに加え、厚生労働省、環境省のご協力のもと、複数の企業にご参加いただくことで、さらに内容を充実させ、来場者から好評を博しました。

これからもフェスタの開催を通して、“会社と個人のあり方”や“家族との絆”について再認識する機会を提供してまいります。



ワーキングマザーコンテストや企業対抗スポーツ大会など“参加型イベント”を多数開催

9

パナキャリア

役員向け再就職支援サービス
「エグゼクティブコース」開始

www.pasonacareer.co.jp

パナキャリアは、会社役員・執行役員に特化した再就職支援サービス「エグゼクティブコース」を開始しました。

2006年から施行された高齢者雇用安定法により、企業では60歳以降も社員を雇用する「継続雇用制度」が普及しました。しかし、企業の役員・執行役員は定年年齢の改定がされていない場合も多く、社員であれば65歳まで勤務できたにも関わらず、役員・執行役員の場合は退任年齢が60歳というケースも少なくありません。また、同業種への転職が制限されることが多い役員が、退職後にこれまでの経験を生かせる仕事を見つけるのは容易ではありません。



経験豊富なキャリアコンサルタントが2名体制で、その方に合ったエグゼクティブ求人を開拓し提案します

そこでパナキャリアは、会社役員・執行役員向けに、よりきめ細やかで高質な再就職支援サービスを提供することで、エグゼクティブ層の転職・再就職を支援するとともに、中堅・中小企業に向け優秀な人材の円滑な採用を提案してまいります。

10

パナユース

大学4年生向け「就職相談室」設置

www.pasona-youth.co.jp

パナユースは、2009年春卒業予定の大学4年生を対象に、今後のキャリア相談に応える「就職相談室」を設置し、個別の相談会を東京・名古屋・大阪・福岡で実施しました。

厚生労働省によると、2008年12月19日時点で、今年卒業予定の大学生や高校生計769名が172事業所から採用内定を取り消されたとされています。また、急激な経済環境の悪化により、内定を受けているものの、就職先について再検討する学生も出てきています。

そこでパナユースは、内定を取得しているものの就職先や業界に懸念を抱き、再び就職活動にチャレンジしたい学生や内定を取り消された大学4年生に、個別のキャリアカウンセリングを実施する「就職相談室」を設置しました。この活動を通じて、学生のメンタルサポートとともに、自身が納得のいくキャリアが築けるよう若者の就労支援に取り組んでまいります。



内定取り消しや「賞与の条件が変更された」など、様々な相談が寄せられています

8月

パソナテック 「中国・大連人材視察ツアー」開催

www.pasonatech.co.jp

パソナテックは、日系企業が、中国の理工系大学生と直接交流できる「中国・大連人材視察ツアー」を開催しました。技術者を採用する企業は、国籍を問わず優秀な人材を求めています。パソナテックでは、中国での日本語人材の育成・輩出および採用支援を行ってまいります。



企業と学生との座談会では、学生のキャリア観について日本語で意見交換が行われました

ミュージックメイト 演劇部門を開始

www.pasona.co.jp/job/career/ability.html

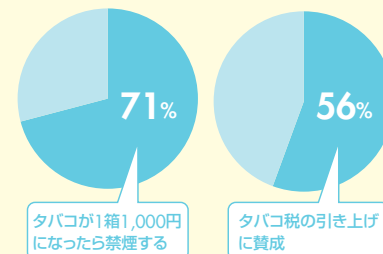
これまで500名以上の音楽家の“仕事”と“音楽活動”の両立支援を行ってきたパナグループは、俳優や演出家など演劇活動を持続しながら就労を希望する方の夢の実現を応援する「ミュージックメイト 演劇部門」を2008年8月より開始いたしました。



演劇活動を継続しやすい仕事のご案内のほか、充実した福利厚生サービスを提供します

Research!

フリーター協会アンケート



パナグループが運営する「自立人（フリーター）協会」（www.fkyoukai.com）は、「若者の“たばこ増税”と“喫煙”に関する意識」を実施しました。

喫煙者にたばこが1箱1,000円になっても吸い続けるかどうか尋ねたところ、71%が「すぐに禁煙する」「本数を減らし、いずれ禁煙する」と回答し、遅かれ早かれ禁煙を検討している結果となりました。

税の引き上げによるたばこの値上げの賛否を尋ねたところ、「賛成」「1,000円以下の条件付きで賛成」が56%を占めました。

9月

ITシェアードサービス会社 「株式会社パソナCIO」設立

www.pasona-cio.co.jp

パナグループではグループ経営の効率化を図るべく、情報システム開発・運用管理全般のシェアードサービスをグループ各社に提供する専門子会社「株式会社パソナCIO」を設立、12月より営業を開始しました。グループ全体の情報システム業務レベルの質的向上を図るとともに、グループIT部門の統合、集約化による専門人材の最適配置と人材育成も行ってまいります。これにより、当社事業領域において、より高度なIT戦略を推進し、グループ価値の最大化につなげてまいります。

大学前キャリアコンシェルジュデスク 「パナ学生職堂」をオープン

パナグループは、大学生の就職活動とキャリア形成をサポートする「パナ学生職堂」を関西大学前に開設。少人数セミナーや個別相談等を通じて、一人ひとりに合った働き方を知ってもらい、学生の夢の実現やキャリア形成を支援してまいります。



学生食堂のように、学生が気軽に立ち寄りキャリアの相談ができる空間を目指します

10月

パナグローバル 「Job博」開催

www.pasona-global.com

パナグローバルは、日本に在住する外国人並びに海外就労を希望する日本人を対象に、日本、中国、台湾、香港、シンガポールなど、アジアを中心とした海外の就職情報を提供する「Job博 18th Global Job Fair」を開催しました。



グローバル人材を積極的に採用する日系企業の企業説明会と選考会も実施されました

私たちは、パナソニックグループの「人を活かす」ための事業そのものが、企業としての社会的責任（CSR）であると考え、社員一同、企業理念を正しく理解、実践し、地域社会に貢献するソーシャルアクティビストとして行動することを常に心がけています。

世代、所属を超えた絆作り

パナソニック「夢」オーケストラ

音楽を通じて、パナソニックグループ社員とスタッフ、またクライアントなど、パナソニックグループに関わる方々の「絆」を一層深めようと、『パナソニック「夢」オーケストラ』を2008年6月に結成しました。オーディションには300名を超える応募があり、その中から56名のメンバーが選出されました。指揮者・音楽監督にマエストロ末廣誠氏を招き、メンバーは月2回音楽を通じて互いに交流しています。2009年2月には紀尾井ホールにて第1回チャリティーコンサートを開催しました。

ソーシャルアクティビストとして、コンサート会場に障害を持った方向けのチャリティーシートを設置、またコンサート収入の一部を特定非営利活動法人へ寄付するなどの活動も積極的に行いました。



カンボジアのすべての学校に音楽を！ 第1回チャリティーコンサートの収益金の一部を「特定非営利活動法人JHP・学校をつくる会」の音楽教育支援プロジェクトに寄付しました



パナソニックゴスペルクラブ「ソウルメイツハーモニー」

パナソニックグループ社員とスタッフが歌を通じて心をつなにし、社会貢献活動を行おうと「パナソニックゴスペルクラブ」を結成。実力派シンガーTAEKO氏を講師に迎え、東京・大阪総勢100名のメンバーが月2回のレッスンを重ねています。パナソニックグループ「職博」や「パナソニック祭り」をはじめ、ア・テンポプロデュース「ウインドブローコンサート」(2007年9月)にバックコーラスとして参加。また、(財)五井平和財団の国際フォーラム「みんながチェンジメーカー」(2007年11月)や、世界の難民救済のためのチャリティーコンサート「ヨランダ・アダムス・ゴスペルコンサート」(2008年11月)にライブ出演するなど、積極的に活動しました。



日頃接することの少ない管理部門の社員とスタッフ、スタッフ同士が互いに積極的に交流し、仕事という枠を超え強い絆を育んでいます



障害者雇用のさらなる拡大を目指して

パナグループでは、就労の意欲がありながら就職が困難な障害者の就労分野の拡大と、障害を持つ人々の能力や個性を引き出し、社会的自立を応援するため、様々なシーンで障害者の能力開発に取り組み、社会参加と雇用促進を目指しています。

「ハートフルセミナー」開始

障害を持つ方々のネットワーク作りや能力発見の場を提供するべく、「ハートフルセミナー」と題した様々なイベントや講座を開催しました。



エンジェルテニスカップ (車椅子テニス大会)

「身体に障害を持つ方々と健常者が一緒にスポーツを楽しめたら」という社員の声をきっかけに1993年より開催。社員やスタッフ、またクライアント企業の参加も年々増え、心の交流が行われています。

日本初の障害者の人材派遣をスタート

障害者の更なる雇用拡大を目指し、パソナの人材派遣と障害者雇用のノウハウを併せ持つ日本初の「障害者の人材派遣」を開始しました。



「2005年スペシャルオリンピックス 冬季世界大会・長野」に協賛

公式タウンイベントとして「アート村ギャラリー」を開設。期間中、小泉首相(当時)をはじめ多くの方が来場され、アート村の取り組みを知っていただく良い機会になりました。



ゆめファーム開設

農業分野における障害者の自立支援と就業の場を提供することを目的に、社会福祉法人 爽りの会「ビック・ハート」と共同で「ゆめファーム」を開設。一般就労の困難な重度の知的障害者が、生き生きと農業に携わっています。



第12回「アート村・ 夢のデザイン大賞」開催

障害を持ったアーティスト発掘・育成の場である全国公募展「アート村・夢のデザイン大賞」。12回目の2008年は、東京駅直結の丸の内行幸地下ギャラリーで開催し、多くの方に足をお運びいただきました。

1990

1992

1993

1994

1996

1999

2003

2005

2006

2008

アート村プロジェクト設立

「才能に障害はない」をコンセプトに、働く意欲がありながら就労が困難な、障害を持った方々の「アート」(芸術活動)による就労分野の拡大を目的に設立。これまでに150名以上のアート村アーティストが誕生しました。



「アート村六本木」オープン

アート村プロジェクト活動の第一歩として「アート村六本木」を開設。アトリエやギャラリーを設置した「アート村」は、多くの人が集うコミュニティスペースとして賑いました。

「アート村KOBÉ」オープン

震災後の神戸の街の心と芸術の復興を願い、神戸ハーバーサークス内に「アート村KOBÉ」をオープン。障害者の芸術活動の支援だけでなく、神戸をベースに活動している若手芸術家の支援も行いました。

パソナ特例子会社「パソナハートフル」設立

障害者の更なる雇用拡大を目指し、パソナの特例子会社としてパソナハートフルを設立。障害者が存分に能力を発揮できる職場環境の整備などを積極的に推し進めています。

アート村工房の開設

「アート」による障害者の自立支援を目的に「アート村工房」を開設。障害者たちが商品の企画・制作・販売を行っています。マイ箸やエコカップなどの商品はコミュニケーションツールとしても好評を得ています。



アート村工房野菜カレンダー

スペシャルオリンピックス協賛 アート村カレンダーを販売

知的障害を持つアスリートのための「スペシャルオリンピックス冬季世界大会」をサポート。アート村アーティストの作品に貼り絵をほどこしたカレンダーを販売し、売上金の一部を寄付しました。

パナグループはこのたび、パナナの派遣スタッフとして働いている女性を対象に就労意識調査を実施し、1,182件の回答をいただきました。その結果、自分の環境や希望に応じて仕事を選ぶために、自ら派遣社員という働き方を積極的に選択しているスタッフが多いことがわかりました。

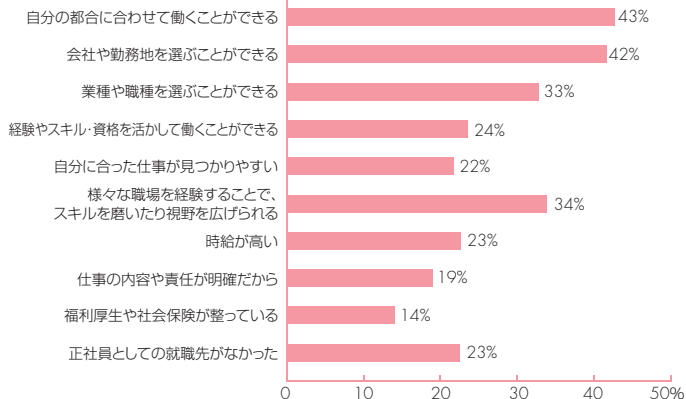
「パナナ派遣社員の就労意識調査」から

**自分の環境や希望に合わせて仕事をしたい！
だから私は派遣を選びます。**

「派遣社員」という働き方を選んだ理由として、「自分の都合に合わせて働くことができる」が最も多く、「会社や勤務地を選ぶことができる」「業種や職種を選ぶことができる」などが「正社員としての就職先がなかった」よりも上位になりました。

自分の環境や希望に応じて仕事を選び、キャリアアップを図りたいというポジティブな理由で派遣を選んでいるスタッフの期待に応えるため、パナナグループはさらに強い使命感を持ってスタッフをサポートしていきます。

「派遣社員」という働き方を選んだ理由(複数回答)

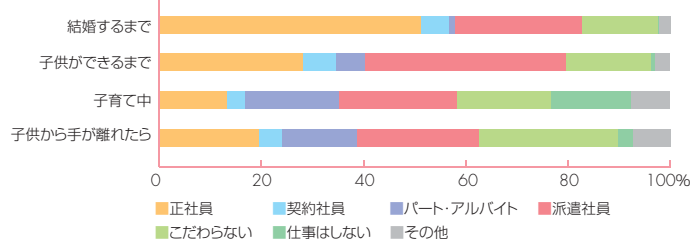


**家庭も、仕事も大切にしたい。
だからプライベートと仕事が両立できる「派遣」を選びます！**

ライフステージ別「希望する雇用形態」では、「結婚するまで」は正社員が過半数でしたが、結婚後は派遣を希望する人が最上位になりました。働く時間や勤務地が柔軟に選べる派遣は、家庭と仕事を両立しやすく、女性が仕事を続けやすい働き方であると認識されていることがわかりました。

女性は結婚、出産などによって、労働条件の制約を受けやすく、継続的に仕事を続けるためには、目的に応じて仕事を選択できる派遣という働き方が必要であることを再認識しました。

ライフステージ別「希望する雇用形態」



パソナグループは、妊娠、出産、育児、復職など様々なライフステージを経験しつつ、仕事への意欲を持続ける女性を全力でサポートするための取り組みの一つとして、パソナグループの社員と派遣スタッフが交流するプラットフォーム「パソナファミリー・タウン」やホームページに、仕事と家庭・生活との両立を応援するコンテンツを揃えています。

PASONA FAMILY TOWN



Dr.ハマー診療所

健康管理サポートの重要性



パソナグループ産業医
濱本 恒男 先生

元気に仕事をするためには、“健康である”ことが何より重要です。スタッフの健康管理については、「派遣社員にも正社員と遜色ない健康管理を実践するのだ」という信念のもと、これまでやってきました。法令に基づく健康診断だけでなく、婦人科検診、心をサポートするメンタルヘルス、健康相談などいろいろな取り組みによりスタッフを応援しています。

仕事が忙しくて健康診断に行く時間がない、という人もいるでしょう。しかし、健康であることを証明しておくことが自分を守る場合もあります。私は日頃から積極的に受診を勧めています。スタッフの健康管理を行う上で、直接、顧客の産業医・担当者と話をすることもあります。こちらが真剣にスタッフの健康管理をしていることを理解していただければ、顧客からも大きな信頼を得られます。

全国のスタッフはもちろん、その家族のことだって相談にのります。そんな心意気で、これからもスタッフの役に立ちたいと願っています。

ベネフィット・ワン Benefit One Inc.

ベネフィット・ワンは、福利厚生業務のアウトソーシングサービスの業界最大手。総会員数364万人を有し、約5,000*の企業や官公庁などに、福利厚生メニューのほか、カフェテリアプランの運営代行やコンサルティングサービスを提供しています。

今回は、福利厚生サービスの「ベネフィット・ステーション」と、新サービスをご紹介します。

※2008年12月現在

ベネフィット・ステーション



ベネフィット・ステーション www.benefitone.co.jp

ベネフィット・ステーションは、全国で利用されている、業界最大の福利厚生サービスです。企業・官公庁などと法人契約を結び、従業員の皆さんに国内外の施設や様々なサービスを会員料金で提供しています。

3,400ヶ所以上の提携宿泊施設では、「ロープライスギランティー」で最低価格が保証されています。

サービス例

- 国内・海外のリゾートホテル、宿泊施設などの割引優待
- 全国10,000店以上の飲食店で20%OFFなどの割引優待
- 映画館やカラオケ、全国のテーマパーク&レジャー施設の割引優待
- 全国5,200ヶ所以上のフィットネスクラブ、マッサージなどの割引優待、無料健康相談
- ベビーシッター、託児所、介護用品などの割引優待や特別補助金
- 200万タイトル以上の書籍・CD・DVDがすべてポイント還元されるブックストア

など

サービスのアウトレットモール「アウトレット・ステーション」

ベネフィット・ステーションのスケールメリットを活かして集めたアウトレット商品を、30～70%の高い割引率で提供するインターネット上のアウトレットモールです。

宿泊日限定の国内有名宿泊施設のスイートルーム、平日限定の映画館やテーマパークなど、約2,000種類のサービスを期間限定や日時指定で優待割引し、会員に提供しています。



契約先の専用ホームページからアクセスしてください

業界初の飲食店割引サービス 「爆割クーポンショップ 食べたいむ50/30」

どなたでも
登録
できます

携帯電話でクーポンを購入して店頭で提示することで、食事代が最大50%割引になるサービスです。

利用者は携帯電話でホームページにアクセスし、「爆割50」(50%割引)、「爆割30」(30%割引)など4種類からお好きなクーポンを購入いただけます。お気に入りの店を登録すると、お得な割引情報がリアルタイムで届きます。



<http://labetime.com> または
上記QRコードからアクセスしてください

パナチャレンジファーム 始動

パナグループは農業分野の活性化のため、農業研修を実施する「農業インターンプロジェクト」、都会で農業を身近に感じてもらう「PASONA O₂」の開設や、農業経営を学ぶ「Agri-MBA農業ビジネススクール」の開講、農家向けにビジネススキル研修を行う「農林漁業ビジネス経営塾」など、農業分野に人材を流動化させる新しい仕組みを作ってきました。

そして2008年9月、農業ベンチャー支援制度「パナチャレンジファーム」を立ち上げ、第一弾として、兵庫県淡路島で7名の研修生が始動しました。



就農や農業分野での起業をサポート

日本の農業は、国内自給率の低下や農業人口の減少など様々な課題を抱えています。しかし、就農したいと思っている人がいても、チャレンジできる仕組みが確立されていません。そこでパナグループは、淡路島に約2haの農地を借り、まず社員として農業に従事した後に独立してもらう仕組みを作りました。

「農業インターンプロジェクト」や「Agri-MBA農業ビジネススクール」の卒業生など、これまで農業について学んできた人や、本気で就農を目指す人が、実地研修を通じて技術や経営感覚を磨いています。



南部代表から
任命書を受け
取る研修生



大阪で行われた任命式。
前列が研修生の皆さん



AWAJI island

新しい発想と知識を持った人材が参入

選考を通過して、全国から淡路島に集まった初年度の研修生は7名。前職は個人事業主、会社経営者、レストラン経営者、接客業、農家など様々です。3年間は専門家から栽培技術や農業経営を実践で学び、4年目以降の独立就農や起業を目指します。各自が培ってきた経験や技術を活かし、農産物の生産だけでなく、加工、流通、観光など周辺産業も含めた新しいビジネスモデルの構築に取り組みます。

全国から大きな反響

この取り組みの発表後、テレビ、新聞、Webなど60以上の媒体に記事が掲載され、大きな反響がありました。地方自治体からも多数の問い合わせをいただき、遊休農地の活用、地域活性化、雇用創出などの面での期待の高さがうかがえました。また、人材育成に悩む農家から激励の言葉もいただきました。

パナグループは今後、2011年までに全国10ヶ所で「パナチャレンジファーム」を展開する予定です。



遊休地を開墾し、農地を整備することからスタート。
春の収穫に向け、野菜の苗を定植しました

株式会社パソナグループの2009年5月期 第2四半期決算の概要をご報告します。

- 景気後退による厳しい環境下で、新規の人材需要が弱く、人材派遣事業が減収となる一方で、総合化戦略の推進により再就職支援、アウトソーシング事業は増収増益を達成
- 高齢者医療保険制度による派遣スタッフの健康保険料率の大幅引き上げにより原価が増加
- コスト削減の一方、成長分野へのIT・人的投資の実施により販管費は前期比微増
- 連結子会社の少数株主持分利益増、繰延税金資産取り崩し等もあり、四半期純利益が減少

当第2四半期の雇用情勢は、急速な景気の後退により有効求人倍率が低下し、一部企業において雇用調整の動きも見られるなど厳しい局面にありました。このような環境の中で、人材派遣事業および人材紹介事業については新規の人材需要が抑制され減収となりましたが、総合化戦略の推進により再就職支援事業、アウトソーシング事業は増収となりました。この結果、当第2四半期の売上高は1,161億円と前期比微減となりました。

利益面では、アウトソーシング事業において業務効率化により原価の抑制が進んだ一方、人材派遣事業では、派遣スタッフの健康保険料率の大幅な引き上げにより原価が膨らみ、全体の売上総利益率は20.0%となりました。

販管費はコスト削減努力により、人材派遣・請負、人材紹介事業では前期比で減少しましたが、成長分野へのIT投資、人的投資等の実施により全体としては微増となりました。

この結果、営業利益は16億円、経常利益は18億円と減益となりました。アウトソーシング事業の利益拡大により、連結子会社の少数株主持分利益が増加したこと、子会社の繰延税金資産を一部取り崩し、法人税等調整額として計上したことなどにより四半期純利益は2億円となりました。

人材派遣・請負、人材紹介事業 (パソナ、パソナテック、パソナキャリア 他)

[人材派遣・請負]

売上高 101,665百万円

オフィスワークを中心とする人材派遣事業では、景気後退により、正社員の余剰感を抱えた企業で新規人材需要が弱まり、受注が減少したことから、長期稼働者数は減少しました。一方で派遣スタッフフォロー策の強化により、契約終了件数が減少するなど、長期安定化傾向は変わらず続きました。職種別では、一般事務分野(クラリカル)は減少しましたが、ITエンジニアリング分野が伸長したほか、専門事務分野(テクニカル)が、ほぼ横ばいで推移するなど専門性の高い分野を中心に堅調に推移しました。

一方、重点注力分野のインソーシング事業(請負事業)では、グループ内の組織改編や人員拡充などにより営業を強化した結果、前年同期を上回るペースで着実に成長しました。

[人材紹介]

売上高 3,496百万円(国内 2,892百万円、海外 603百万円)

人材紹介事業では企業の人材採用姿勢がさらに慎重となり、要求レベルの高度化、複合化が進み人選は難しくなりました。第二新卒や若手人材に対する需要が一巡し、紹介予定派遣が前期比で減少しましたが、専門性の高い人材やエグゼクティブ層へのニーズが下支えとなり、国内の人材紹介事業は堅調に推移しました。しかし海外は、2008年3月末に連結子

■ 2009年5月期 第2四半期連結業績

(単位:億円)	07/11	(%)	08/11	(%)	前期比増減	前期比	(%pt)
売上高	1,195	(100.0)	1,161	(100.0)	△34	△2.9%	(—)
売上総利益	243	(20.4)	232	(20.0)	△11	△4.7%	(△0.4)
営業利益	31	(2.6)	16	(1.4)	△15	△48.0%	(△1.2)
経常利益	31	(2.6)	18	(1.6)	△13	△42.7%	(△1.0)
四半期純利益	11	(0.9)	2	(0.2)	△9	△80.8%	(△0.7)

会社2社を売却した影響により前期比で減収となりました。

【人材派遣・請負、人材紹介】

売上高 105,161百万円、営業利益 2,025百万円

当セグメントの利益については、派遣スタッフの健康保険料率の大幅上昇など原価増負担が大きく、売上総利益率は前期比で低下しましたが、募集費を抑制する等、コスト削減を実施したほか、2007年12月の純粋持株会社体制移行に伴いグループ全体の統括にかかわる販管費が全社セグメントに計上されたため、当セグメントの営業利益率は前期比で相対的に改善しました。

再就職支援事業（パソナキャリア 他）

売上高 2,893百万円、営業利益 618百万円

再就職支援事業では、景気後退を受け企業の早期退職・希望退職等の雇用調整が行われたため需要は好調に推移しました。前年同期に比べ、1社当たりの受入人数が減少するなど小口化したものの、利用企業数は大幅に増加しました。業界トップ企業である株式会社パソナキャリアが、きめ細やかなカウンセリングとアフターフォローにおいて顧客から高い評価を受け、シェアを拡大した結果、再就職支援事業は増収増益となりました。

アウトソーシング事業（ベネフィット・ワン）

売上高 7,479百万円、営業利益 758百万円

福利厚生アウトソーシングの市場は持続的な成長軌道

にあり、株式会社ベネフィット・ワンでは、法人会員に対して提案営業を推進し、ワークライフ・バランスに配慮した福利厚生サービスメニューをさらに拡大しました。また健康保険法改正に伴ういわゆる「メタボ健診」の義務化による新サービスを開始したほか、カスタマー・ロイヤリティ・プログラム（顧客満足度向上のための物販およびサービス提供）などの福利厚生以外の新サービスの拡充にも取り組み、個人および法人会員双方へのサービス提供の体制を強化しました。利益面ではガイドブックの制作費等原価抑制策により、粗利率が大きく改善したことから、アウトソーシング事業は大幅な増益となりました。

その他の事業

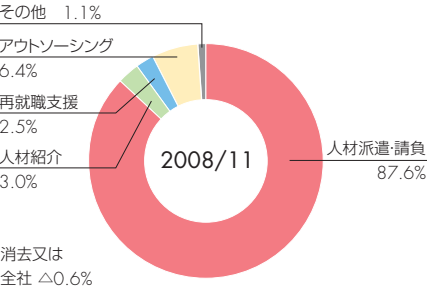
売上高 1,287百万円、営業利益 24百万円

保育関連事業や語学教室の運営などの教育事業を行っており、増収増益となりました。

消去又は全社

グループ間取引および、純粋持株会社である株式会社パソナグループの販管費が含まれています。尚、前期においては人材派遣・請負、人材紹介事業セグメントにその販管費の多くが含まれていました。

■事業区分別売上構成比(連結)



■事業区分別業績

売上高

(単位:億円)

	07/11	08/11	前期比
人材派遣・請負	1,057	1,017	△3.8%
人材紹介	42	35	△16.1%
再就職支援	26	29	9.8%
アウトソーシング	66	75	13.2%
その他	10	13	32.7%
消去又は全社	△5	△7	—

営業利益

(単位:億円)

	07/11	08/11	前期比
人材派遣・請負/人材紹介	20	20	1.1%
再就職支援	6	6	5.2%
アウトソーシング	5	8	58.9%
その他	0	0.2	1,449.4%
消去又は全社	0	△18	—

通期の見通し

現在、急激な世界経済の減速による企業収益の悪化により、景気の先行きが不透明な状況にあります。

人材派遣事業では、足元では新規の受注総数の減少が見られますが、一方で、より専門性の高い職種に対する需要や人手不足感の強い企業・業界からの需要は堅調に推移しています。派遣スタッフの口コミによる新規登録者数の増加や長期安定化など優秀人材の囲い込みも進んでおり、今後、受注の成約率を着実に高めることで稼働者数の増加につなげていきたいと考えています。また、再就職支援事業、アウトソーシング事業については、引き続き需要が堅調であることに加え、集中的な資源配分の実施など更なる総合化戦略の推進により、着実に実績を積み上げる見通しです。

しかしながら今春以降の人材需要の見通しについては不透明な面が否定できず、慎重に見ざるをえないことから、売上高の期初計画を見直し、通期の連結売上高予想を224,730百万円(前期比5.2%減)に修正いたしました。また、経費の削減、見直し等により、販管費は期初計画に比べ抑制を進めていますが、売上総利益の減少を吸収するまでにはいたらないため、連結営業利益3,790百万円(前期比41.2%減)、連結経常利益4,220百万円(前期比36.4%減)、連結当期純利

益1,040百万円(前期比64.9%減)とそれぞれの予想を修正いたしました。

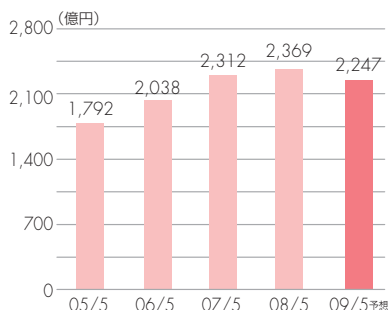
来期以降、専門性が高く、かつ安定的な人材派遣に対する需要は景気に先行して回復するものと見ています。当期は人材派遣需要回復に備え、派遣スタッフの教育研修の拡充や優秀人材の囲い込み等の施策を実施しており、また、アウトソーシング事業など成長分野への資源配分を継続し、中長期的な成長の実現を目指します。そして、より強いグループ経営を推進するべく、グループ事業の再編やオフィス等の業務インフラの集約化を含めたグループ戦略を推進し、景況に左右されない強い体制の早期構築を進めてまいります。

配当について

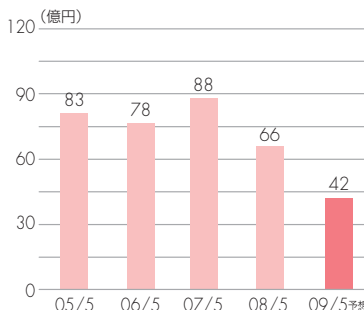
当期の配当につきましては、第2四半期業績および通期業績予想を下方修正したことなどを総合的に勘案し、誠に遺憾ではありますが、中間配当は1株当たり600円とさせていただきます。尚、中間配当につきましては、資本剰余金を原資として配当を実施いたします。

また、期末配当予想につきましては、今後の経営環境が不透明であることを踏まえ、現時点では配当予想額を1株当たり650円とさせていただきます。

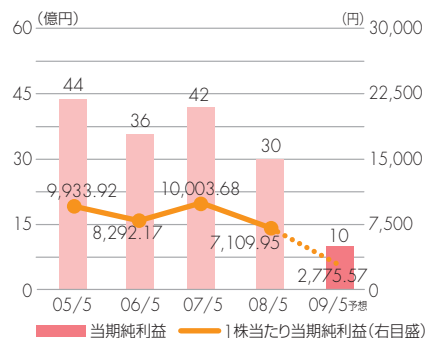
■売上高(連結)



■経常利益(連結)



■当期純利益／1株当たり当期純利益(連結)



第2四半期連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

科目	前期末 2008年5月31日現在	当第2四半期末 2008年11月30日現在
資産の部		
流動資産	41,213	35,091
固定資産	17,300	17,578
有形固定資産	4,990	5,147
無形固定資産	3,338	4,098
投資その他の資産	8,971	8,333
資産合計	58,513	52,670
負債の部		
流動負債	26,731	25,723
固定負債	2,313	2,007
負債合計	29,045	27,731
純資産の部		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	8,887	6,732
利益剰余金	12,682	12,886
自己株式	△2,257	△4,799
株主資本合計	24,312	19,819
評価・換算差額等合計	19	△31
少数株主持分	5,136	5,152
純資産合計	29,468	24,939
負債純資産合計	58,513	52,670

資産

前期末に比べて5,842百万円減少(10.0%減)し、52,670百万円となりました。これは現金及び預金の減少3,411百万円、受取手形及び売掛金の減少1,964百万円等によるものです。

純資産

前期末に比べて4,528百万円減少(15.4%減)し、24,939百万円となりました。これは配当金の支払541百万円、自己株式の取得4,154百万円等によるものです。この結果、自己資本比率は、前期末に比べて4.0%ポイント減少し、37.6%となりました。

第2四半期連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 (自2007年 6月 1日 至2007年11月30日)	当第2四半期 (自2008年 6月 1日 至2008年11月30日)
売上高	119,516	116,086
売上原価	95,169	92,888
売上総利益	24,346	23,197
販売費及び一般管理費	21,274	21,598
営業利益	3,071	1,598
営業外収益	296	278
営業外費用	222	73
経常利益	3,145	1,803
特別利益	44	87
特別損失	153	289
税金等調整前四半期純利益	3,036	1,601
法人税、住民税及び事業税	1,502	1,018
法人税等調整額	183	63
少数株主利益	287	316
四半期純利益	1,063	203

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 (自2007年 6月 1日 至2007年11月30日)	当第2四半期 (自2008年 6月 1日 至2008年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△865	609
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,211	△1,856
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,007	△2,184
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	8
現金及び現金同等物の減少額	△67	△3,424
現金及び現金同等物の期首残高	11,750	13,612
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,683	10,188

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、1,856百万円となりました。これは有形固定資産の取得による支出825百万円と無形固定資産の取得による支出1,066百万円等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、2,184百万円となりました。資金増加の主な内訳は、短期借入金増加2,810百万円によるものです。資金減少の主な内訳は、自己株式の取得による支出4,154百万円、配当金の支払826百万円等によるものです。

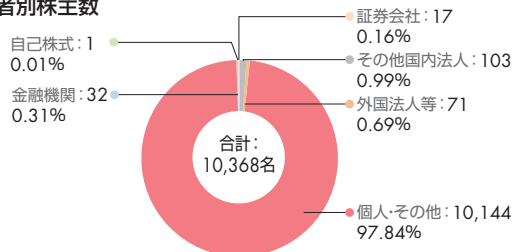
株式の状況

会社が発行する株式の総数: 1,500,000株

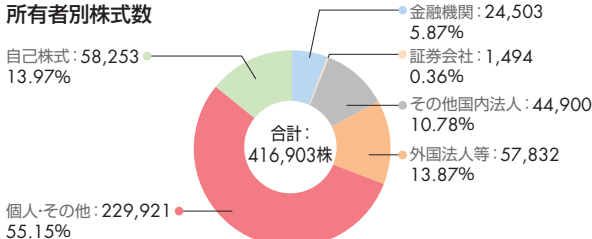
発行済株式総数: 416,903株

株主数: 10,368名

所有者別株主数



所有者別株式数



※2008年8月29日付で自己株式17,500株を消却しました。

※証券保管振替機構名義の株式については「その他国内法人」に含んで記載しています。

株主(上位10名)

南部靖之	147,632株 (35.41%)
株式会社パナグループ(自己株式)	58,253株 (13.97%)
株式会社南部エンタープライズ	35,688株 (8.56%)
ステート ストリート バンク アンドトラスト カンパニー505223	23,912株 (5.74%)
ステート ストリート バンク アンドトラスト カンパニー	16,922株 (4.06%)
南部栄三郎	9,000株 (2.16%)
メロンバンク エグゼー アズ エージェント フォー イッツ クライアント メロン オムニバ ユーエス ペンション	8,409株 (2.02%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	5,940株 (1.42%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,340株 (1.04%)
パナグループ従業員持株会	4,084株 (0.98%)

※自己株式58,253株(発行済株式数に対する所有割合13.97%)は、会社法第308条第2項の規定により議決権を有していません。

地域別株主数分布状況

北海道	133人 (1.28%)
東北	227人 (2.18%)
関東	4,631人 (44.68%)
中部	1,544人 (14.89%)
近畿	2,590人 (24.99%)
中国	451人 (4.34%)
四国	265人 (2.55%)
九州	460人 (4.44%)
外国	65人 (0.63%)
保管振替機構名義株式	1人 (0.01%)
自己名義株式	1人 (0.01%)

株価および出来高の推移



取締役および監査役

代表取締役グループ代表兼社長	南 部 靖 之
取締役専務執行役員	深 澤 旬 子
取締役専務執行役員	山 本 絹 子
取締役専務執行役員	鈴 木 雅 子
取締役専務執行役員	川 崎 悦 道
取締役常務執行役員	若 本 博 隆
社外取締役	相 原 宏 徳*
社外取締役	平 澤 創*
社外取締役	衛 藤 博 啓*
社外取締役	早 川 吉 春*
常勤監査役	肥 後 一 雄
社外監査役	秋 元 勇 巳**
社外監査役	後 藤 健**
社外監査役	船 橋 晴 雄**

* 取締役の相原宏徳氏、平澤創氏、衛藤博啓氏、早川吉春氏は会社法第2条第15号に定める社外取締役です。
** 監査役の秋元勇巳氏、後藤健氏、船橋晴雄氏は会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

会社概要 (2008 年 11 月 30 日現在) CORPORATE DATA

社 名:	株式会社パナグループ(Pasona Group Inc.)
本社所在地:	〒100-6514 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号 新丸の内ビルディング Tel. 03-6734-0200(代)
創 立:	1976年 2月16日
設 立:	2007年12月 3日
資本金:	50億円
事業内容:	グループ経営戦略の策定と業務遂行支援、経営管理 と経営資源の最適配分の実施、雇用創造に係わる 新規事業開発等

アドバイザーボード

財団法人地方自治研究機構 会長	石 原 信 雄
財団法人機械システム振興協会 会長	児 玉 幸 治
財団法人全国勤労者福祉・共済振興協会 理事長	鷲 尾 悦 也
当社社外取締役	相 原 宏 徳
当社特別顧問(慶應義塾大学 教授 グローバルセキュリティ研究所 所長)	竹 中 平 蔵

第2期中間配当に関するお知らせ

当社は平成21年1月9日開催の取締役会において、第2期中間配当を実施することを決議し、平成21年2月27日より配当金のお支払いを開始させていただきます。

今回の配当金は全額「資本剰余金」を原資としており、「資本の払い戻し」に該当します。「利益剰余金」を原資とする配当とは税務上の取扱いが異なりますので、お取扱い等につきましては、本冊子とともにお送りいたしました「第2期中間配当に関するご説明」をご高覧いただきますようお願い申し上げます。

具体的な取得価額、みなし譲渡損益の計算、当社株式のご売却による譲渡所得税額の計算、また確定申告の要否につきましては、株主の皆さま個々のご事情によって異なりますことから、大変お手数ですがお取引の証券会社、最寄りの税務署等にご相談いただきたくお願いいたします。

■本件に関するご照会先

- (1) 「第2期中間配当に関するご説明」についての一般的なご照会
 - みずほ信託銀行株式会社
証券代行部: ☎ 0120-288-324(フリーダイヤル)
受 付 時 間: 午前9:00～午後5:00(土日祝日を除く)
 - 株式会社パナグループ
総 務 部: Tel. 03-6734-0150
受 付 時 間: 午前9:00～午後5:30(土日祝日を除く)
- (2) 株主さま各位の取得価額の調整に関する具体的にご照会
 - お取引の証券会社または最寄りの税務署にご相談ください。
- (3) 税務申告等に関するご照会、ご相談
 - 最寄りの税務署にご相談ください。

	証券コード(2168)
事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日
剰余金の配当基準日	5月31日(中間配当を行う場合は11月30日)
定時株主総会	毎年8月
株式売買の単位	1株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告方法	電子公告 www.pasonagroup.co.jp/ir ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-288-324(フリーダイヤル)

2009年1月5日に実施された株券の電子化に伴い、株式会社証券保管振替機構(ほふり)へ期日までに預託されなかった当社株券について、株主の権利を確保するため、当社が株主名簿上の株主名義で「特別口座」を開設しております。特別口座にて当社株式が管理されている方は、所定のお手続きが必要となりますので、上記事務取扱場所へご連絡をお願いいたします。

株式会社パソナグループ

〒100-6514 東京都千代田区丸の内1-5-1新丸の内ビルディング
Tel. 03-6734-0200(代)
www.pasonagroup.co.jp



このパンフレットは「FSC認証紙」と、揮発性有機溶剤を含まない「VOCゼロ型インキ」を使用しています。



表紙の絵：
醍醐 恵子(知的障害)

2007年株式会社パソナハートフル入社。アーティスト社員として、絵を描くことを仕事にしています。花の絵を得意とし、油絵の具、水彩やアクリル絵の具などあらゆる画材で描いた作品は100点以上にも及びます。「自分の描いた花の絵をみて、たくさんの人が優しい気持ちになってほしい」(本人談)

パソナグループは「才能に障害はない」のコンセプトのもと、1992年「アート村プロジェクト」をスタートして以来、アートを通じて障害者の社会参加を支援しています。